

事務事業評価表(既存事業)

コード 2-1-1	事務事業名 田無庁舎市民ロビー等空調設備改修工事	所管部課 総務部管財課
--------------	-----------------------------	----------------

事務事業の概要	事務事業の目的 当面新庁舎を建設することなく、現在の田無庁舎、保谷庁舎を有効活用する方針に基づき、市民サービス向上のための庁舎の空調機設備改修を図った。	総合計画上の位置づけ (政策)協働で拓くまちづくり (施策)健全な自治体経営の推進(協2-3) (主要施策)田無庁舎・保谷庁舎の整備
	実施内容、実施方法 田無庁舎の会議室等に関し、個別空調機を設置する。実施については、委託業者が設置・改修工事を行う。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 15 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 空調機設置箇所数	活動指標の考え方(定義) 空調機を設置した箇所数
	成果指標名 進捗率	成果指標の考え方(定義) 整備事業の進行した割合

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	100,425	100,545	0	
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債	千円		10,200			
	その他						
	一般財源			90,225	100,545		
	所要人員(B)	人			0.02		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	167	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	100,425	100,712	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(空調機設置箇所数)	千円	0	2,575	2,289	0	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	箇所			44	
		実績値	箇所		39	44	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	%			100		
	実績値	%		50.0	100		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 2-1-1	事務事業名 田無庁舎市民ロビー等空調設備改修工事	所管部課 総務部管財課
--------------	-----------------------------	----------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	空調設備により室内温度の調整が図られ良好な環境になった。 毎年数十件苦情があったが個別空調後はなくなった。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	良好な環境は少なからず市民の願いと思われるため市民ロビー、会議室等の空調設備は十分寄与できる。
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	個別空調により、会議室等を使用していない時間帯は電気の使用がなくなったことにより経費削減が図られた。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	会議室利用者の体感により温度設定が可能である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	良好な室内環境を維持し市民サービスの向上に寄与できた。

17年度における改善点	ISO14001の理念に基づき設定温度を順守する。その上で良好な環境を維持し市民サービスの向上に努める。 今後、アセスメントを策定し、検討していきたい。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。